



日本共産党 北区議会議員

のの山けん区政レポート

http://ken-nonoyama.com/ mail@ken-nonoyama.com

No.574 2020.9.23

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

切実な区民の 要望実現へ 区政動く!

現在、区議会第3回定例会が開会中です。この間の論戦や区民の運動を通じて、切実な区民要望の実現に向けた動きが広がっています。(のの山けん)

医療機関への支援 PCR検査体制強化

区が示した補正予算で、新型コロナ患者を受け入れたり、唾液によるPCR検査を実施する医療機関への支援が実現。要望の強いPCR検査の拡充については、新規入院患者や介護・障害者施設への介入が実現。要望の強いPCR検査の拡充については、新規入院患者や介護・障害者施設への介入が実現。要望の強いPCR検査の拡充については、新規入院患者や介護・障害者施設への介入が実現。

コミュニティバス 新規路線へ最終調整

より効果的な「北区地域公共交通計画」の策定をめざす地域公共交通会議は、9月4日に第4回の会議を開



PCR検査 さらなる拡充を

23日、第2回目の署名提出行動。北区からは池内さおり前衆院議員、そねはじめ都議らが1700筆分を東京都に届けました。

大規模水害に備え 高台の避難所を拡大

年々被害を拡大している台風や集中豪雨。荒川氾濫を想定した大規模水害への備えは急務です。第2回定例会では党区議団が先駆けて高台の避難所拡大を提案、今議会で区は、

暮らし・営業の支援に

23日の区議会企画総務委員会で、区が示した「ふるさと北区財政白書（2019年度決算）」に基づき質疑。新型コロナの影響が広がっている下での財政運営について提案しました。（のの山けん）

「コロナ関連での解雇・雇い止めは5万5000人に」、「1～8月の飲食店倒産は前年比13.2%増、過去最多の583件」—新型コロナの影響が広がっています。こうした中でこそ、183億円に積み上がった財政調整基金（グラフ参照）を暮らし・営業への支援に活用することを提案。財政課長は、「感染症対策や区民への必要な支援に基金を積極的に活用していく」と答えました。



再開発は立ち止まり じっくり住民合意を

今後、区民税や財調交付金の大幅減収など歳入に大きな影響が予想される下で、区も、不要不急の事業は見直すべきと指示を出しています。私は、莫大な税金投入につながる赤羽駅前の第二・第三地区市街地再開発はいったん立ち止まり、じっくり住民合意形成に時間をかけるべきと提案しました。

サービス切りすでの 「行革」路線転換を

区は、「歳入確保のために『経営改革プラン』などさらなる行財政改革を」といいますが、同プランは、サービス削減、区民への負担で財源を調達する計画です。私は、コロナ禍で新自由主義の破たんが明らかになった今こそ、自己責任を押しつけてきた「行革」路線の転換が必要だと訴えました。



街頭で区政報告 =20日、LaLaガーデン

選択的夫婦別姓

国会での審議推進を求める陳情採択

委員会で選択的夫婦別姓制度について国会審議の推進を求める陳情の審査。私も積極的賛意を表明し、採択となりました(自民のみ趣旨採択)。(のの山けん)